

第2回森之宮小学校PTA対象説明会

区まちづくり推進の取組と 小学校再編整備の検討

日時：令和5年1月27日（金）19:00～
令和5年1月28日（土）10:30～
場所：森之宮小学校 講堂

大阪市城東区役所保健福祉課子育て教育担当

目 次

1. 大阪城東部地区のまちづくりについて.....P. 3～
2. 福祉・健康の向上に関する取組み.....P.6～
3. 大阪公立大学との連携の取組み.....P.7～
4. 森之宮地域と区長との意見交換会.....P.8～
5. 通学路と安全対策P.13～
6. 学校選択制の区域設定.....P.16～
7. 校舎整備の方向性.....P.18～
8. 今後の進め方.....P.22～



大阪城東部地区のまちづくりについて

「大阪城東部地区のまちづくりの方向性（大阪府・大阪市 2020年9月）」を踏まえ、新大学を先導役にした、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまちづくりの実現に向け、関係者と協議・検討を行っています。

1 概要

- 2012年（平成24年）6月、「**グランドデザイン・大阪**」を府・市にて策定、大阪城公園と周辺のにぎわい創出や世界的観光拠点としての魅力向上、森之宮周辺の活性化を図ることとした。
- 2016年（平成28年）7月、「観光集客・健康医療・人材育成・居住機能の集積により、多世代・多様な人が集い、交流をはぐくむまち」をまちづくりのコンセプトとした「**大阪城東部地区のまちづくりの方向性（素案）**」を取りまとめた。
- 2019年（令和元年）8月、「**新大学基本構想**」において、2025年（令和7年）を目途に当地区に新大学の都心メインキャンパスを整備する方針が示された。
- 2019年（令和元年）12月より、府・市、地権者等の関係者による「大阪城東部地区まちづくり検討会」を開催、府・市として「大阪城東部地区のまちづくりの方向性（案）」を取りまとめ、同年9月に「**大阪城東部地区のまちづくりの方向性**」を策定した。

2 これまでの経過

- 2016年（平成28年）7月
府市「大阪城東部地区のまちづくりの方向性（素案）」
- 2016年（平成28年）7月～2017年（平成29年）3月
地区内市有地の有効活用に係るマーケット・リサーチの実施結果公表
- 2019年（令和元年）12月
「第1回大阪城東部地区まちづくり検討会」の実施
- 2020年（令和2年）2月
「第2回大阪城東部地区まちづくり検討会」の実施
- 2020年（令和2年）3月
「第3回大阪城東部地区まちづくり検討会」の実施
- 2020年（令和2年）5月～6月
「大阪城東部地区のまちづくりの方向性（案）」にかかるパブリック・コメントの実施
- 2020年（令和2年）9月
府市「**大阪城東部地区のまちづくりの方向性**」の策定
国による都市再生緊急整備地域（森之宮周辺地区）の指定
- 2021年（令和3年）9月
森之宮地区 地区計画の決定



大阪城東部地区のまちづくりについて

3 想定される開発の進め方

(「大阪城東部地区まちづくりの方向性」【概要】より)

※記載する年次はあくまで想定です。確定したものではありません。



【参考】1期・1.5期の開発展開イメージ (例)

※2期・3期の展開イメージについては、順次バージョンアップを図る

1期整備 (～2025年4月)

- ◆ハート面での整備イメージ
 - ・新大学都心キャンパスの整備
 - ・東西動線の整備
- ◆ソフト面での展開イメージ
 - ・大学と地域等との連携
(イメージ醸成のためにも大学開所以前の早い段階から順次展開)
 - 例) 既存広場や暫定利用空間も活用し、各学科の特徴を活かした地域連携活動を展開
 - 例) UR団地と連携して、団地居住者と学生との交流活動等を展開

様々な活動がシンボル広場に表出し「次世代型キャンパスシティ」形成の期待を高める



1.5期整備 (2025年以降できるだけ速やかに)

- ◆ハート面での整備イメージ
 - ・1.5期の施設整備
 - ・東西動線(鉄道施設上部)整備
 - ・動線結節点における広場確保
 - ・もと森之宮工場の暫定利用
- ◆ソフト面での展開イメージ
 - ・大学と地域等との連携(拡充)
 - 例) シンボル広場を核にしながら、大学と地域との連携活動を拡充
 - ・イノベーション・コアの本格稼働
 - 例) 可能な分野から随時スマートシティの実証・実装

スマートシティの姿、クロスオーバーシティの姿が広く発信され、民間開発を誘引する

